

実践記録

学校/学年	小学校 / 5年	
教科等：単元名	社会：情報化した社会と私たちの生活	
キーワード	情報活用宣言	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	a1：発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ e2：情報を正しく安全に利用することに努める
	中目標項目番号 中目標項目内容	a1-1：約束や決まりを守る e2-1 情報には誤ったものもあることに気付く
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	情報を活用する上での問題点を資料から読み取り、情報を選んだり発信したりするときに注意することを考える	
使用教材	教材名	東京書籍 新しい社会 5年下 P 76 ~ P 79
	製作者	
	入手先(URL 等)	

展開案

	学習活動	指導 評価
導入	情報化の進展によって生じている問題点について話し合う。	・総務省の情報通信統計データベースから「インターネットが原因の犯罪やいじめの割合」のグラフから言えることを考える。
展開	インターネットを使って情報を発信するときに気をつけることを出し合う。	下記の点をおさえる。 ・送り手のことを考える。 ・マナーを守る。 ・情報について判断する。 ・個人情報の流失に注意する。
おわり	情報を発信するときに注意することをまとめる。	・一人ひとりが上手に情報を活用していくことが重要であることを捉えさせる。 ・メディアリテラシーという言葉を教える。

授業の成果

- ・サイバー犯罪が身近で深刻な問題になっていることを確認できた。
- ・私たちが情報をどのように活用しながら生活を豊かにしていくのか考え合うことができた。

指導のポイント・留意点

- ・情報活用宣言を子ども自ら自分で作成しホームページに公開することが重要である。